

第3 統計

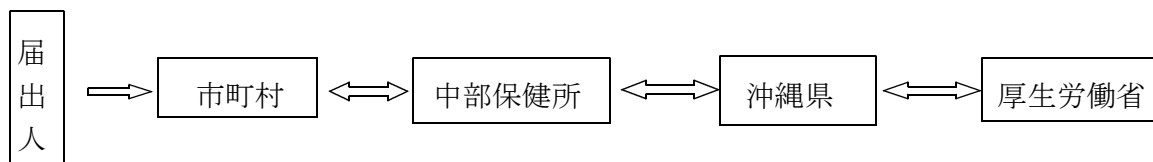
1 人口動態統計

【概略】 我が国では、「人口動態事象」のうち出生、死亡、婚姻、離婚及び死産についての人口動態調査が実施されている。

人口動態統計は、明治4年の「戸籍法三十三則」によって戸籍簿が完成されたことにより翌5年にはじまった。当初は出生と死亡のみの調査であったが、明治17年には婚姻と離婚が、さらに同19年には死産が加わり、主として市区村長が発生件数を年報によって報告する方法がとられていた。明治31年「戸籍法」が施行され、登録制度が法体系的にも整備されたのを機会に、翌32年から人口動態調査も1事件につき1枚の個別票を作成し、内閣統計局によって中央集計をするという近代的な人口動態調査制度が確立した。

昭和22年9月、人口動態事象の中でも特に出生、死亡、死産が公衆衛生施策の中心的資料になるという観点からこの事務が総理庁統計局から厚生省（当時）に移管されたのを期に、保健所が調査票の収集、利用機関となる。このことは死亡率の急速な低下等、公衆衛生の発展に大きく影響したといわれている。

人口動態調査票は、その届出を受けた市町村が作成し、保健所を経由して知事に提出、さらに厚生労働大臣に提出される。



【用語の解説】

自然増加	出生数から死亡数を減じたもの
乳児死亡	生後1年未満の死亡
新生児死亡	生後4週未満の死亡
早期新生児死亡	生後1週未満の死亡
死産	妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産
周産期死亡	妊娠満22週（平成6年までは妊娠満28週）以後の死産と早期新生児死亡をあわせたもの

- ア. 出生・死亡・婚姻・離婚率 $= \text{年間事件数} / 10 \text{月} 1 \text{日現在人口} \times 1,000$ (注)
- イ. 自然増加率 $= \text{年間自然増加数} / 10 \text{月} 1 \text{日現在人口} \times 1,000$ (注)
- ウ. 乳児死亡・新生児・早期新生児死亡率
 $= \text{年間事件数} / \text{年間出生数} \times 1,000$
- エ. 周産期死亡率 $= \text{年間事件数} / \text{年間出産数} (\text{出生} + \text{妊娠満} 22 \text{週以後の死産数}) \times 1,000$
- オ. 死産率 $= \text{年間死産数} / \text{年間出産数} (\text{出生} + \text{死産}) \times 1,000$
- カ. 低体重児率 $= \text{年間低体重児数} / \text{年間出生数} \times 100$

(注) 分母に用いる人口は10月1日現在推計人口（県統計課）。

(1) 管内人口状況

ア 管内総人口及び面積

令和2年10月1日現在の管内人口は518,742人で、総世帯数は212,525世帯となっている。これは県全体の人口1,467,480人の35%(世帯数は34%)を占めており、面積に占める割合は16%となっている。

表1 市町村別人口総数及び世帯数

令和2年10月1日現在

市町村名	人口(人)			世帯数(件)	1世帯当たり の人口(人)	面積(k㎡)	人口密度 (人/1k㎡)
	総数	男	女				
県計	1,467,480	722,812	744,668	614,708	2.4	2282.59	642.90
管内計	518,742	255,128	263,614	212,525	2.4	367.92	1409.93
宜野湾市	100,125	48,826	51,299	44,163	2.3	19.80	5056.82
沖繩市	142,752	69,489	73,263	60,570	2.4	49.72	2871.12
うるま市	125,303	63,049	62,254	48,163	2.6	87.02	1439.93
恩納村	10,869	5,497	5,372	4,735	2.3	50.84	213.79
宜野座村	5,833	2,907	2,926	2,239	2.6	31.30	186.36
金武町	10,806	5,371	5,435	4,657	2.3	37.84	285.57
読谷村	41,206	20,242	20,964	15,672	2.6	35.28	1167.97
嘉手納町	13,521	6,561	6,960	5,220	2.6	15.12	894.25
北谷町	28,201	13,483	14,718	11,697	2.4	13.93	2024.48
北中城村	17,969	8,667	9,302	6,558	2.7	11.54	1557.11
中城村	22,157	11,036	11,121	8,851	2.5	15.53	1426.72

表2 市町村別人口年次推移

市町村名	区分	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年
沖繩県	総数	1,433,566	1,439,913	1,443,802	1,448,101	1,433,566	1,467,480
	男	704,619	707,984	709,759	712,065	704,619	722,812
	女	728,947	731,929	734,043	736,036	728,947	744,668
管内計	総数	499,000	502,314	503,903	505,963	508,429	518,742
	男	244,970	246,679	247,225	248,283	249,388	255,128
	女	254,030	255,635	256,678	257,680	259,041	263,614
宜野湾市	総数	96,243	96,903	96,825	97,207	98,093	100,125
	男	47,022	47,315	47,102	47,254	47,680	48,826
	女	49,221	49,588	49,723	49,953	50,413	51,299
沖繩市	総数	139,279	140,506	140,825	141,102	141,462	142,752
	男	67,522	68,157	68,357	68,508	68,676	69,489
	女	71,757	72,349	72,468	72,594	72,786	73,263
うるま市	総数	118,898	119,307	119,864	120,557	121,294	125,303
	男	59,409	59,695	59,946	60,399	60,799	63,049
	女	59,489	59,612	59,918	60,158	60,495	62,254
恩納村	総数	10,652	10,714	10,756	10,843	10,940	10,869
	男	5,464	5,469	5,464	5,512	5,561	5,497
	女	5,188	5,245	5,292	5,331	5,379	5,372
宜野座村	総数	5,597	5,625	5,655	5,749	5,785	5,833
	男	2,775	2,802	2,817	2,861	2,877	2,907
	女	2,822	2,823	2,838	2,888	2,908	2,926
金武町	総数	11,232	11,259	11,267	11,367	11,270	10,806
	男	5,565	5,594	5,620	5,683	5,636	5,371
	女	5,667	5,665	5,647	5,684	5,634	5,435
読谷村	総数	39,504	39,681	39,695	39,548	39,628	41,206
	男	19,481	19,585	19,561	19,477	19,460	20,242
	女	20,023	20,096	20,134	20,071	20,168	20,964
嘉手納町	総数	13,685	13,671	13,639	13,587	13,471	13,521
	男	6,668	6,653	6,599	6,579	6,492	6,561
	女	7,017	7,018	7,040	7,008	6,979	6,960
北谷町	総数	28,308	28,578	28,519	28,430	28,270	28,201
	男	13,554	13,690	13,643	13,605	13,517	13,483
	女	14,754	14,888	14,876	14,825	14,753	14,718
北中城村	総数	16,148	16,040	16,303	16,521	16,674	17,969
	男	7,780	7,759	7,888	7,972	8,030	8,667
	女	8,368	8,281	8,415	8,549	8,644	9,302
中城村	総数	19,454	20,030	20,555	21,052	21,542	22,157
	男	9,730	9,960	10,228	10,433	10,660	11,036
	女	9,724	10,070	10,327	10,619	10,882	11,121

*世帯数並びに人口は令和2年10月1日現在推計人口(「第64回沖繩県統計年鑑(令和3年版)」(沖繩県企画部統計課)より抜粋)

*面積は令和2年10月1日現在(国土交通省国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」より抜粋)

図1 市町村別人口推移（1985年～2020年）

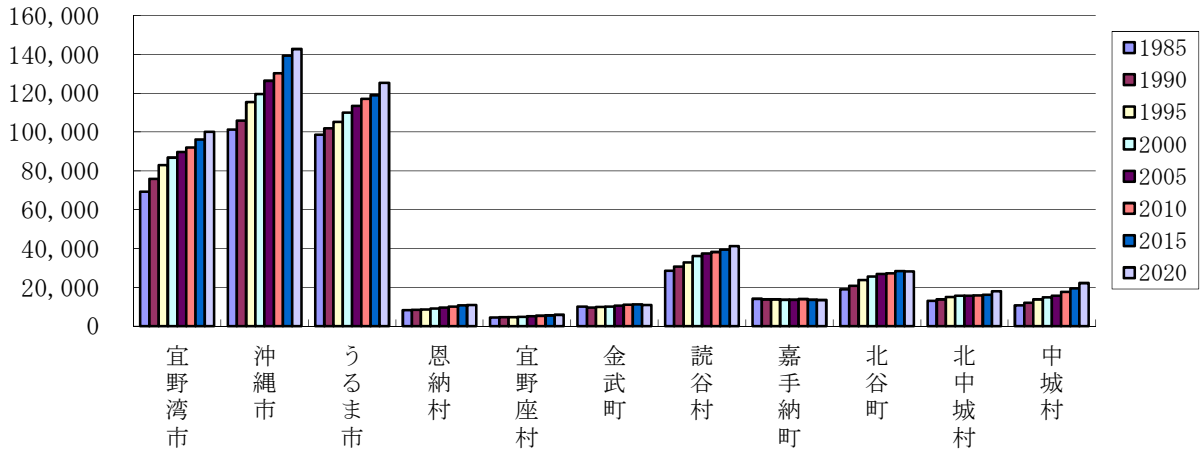
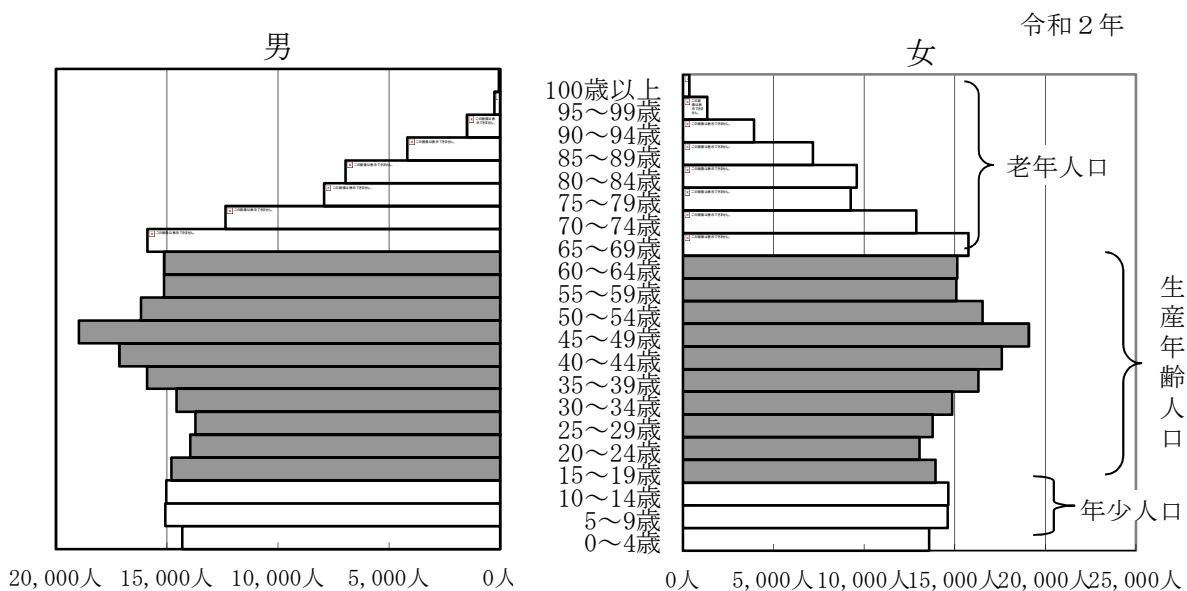


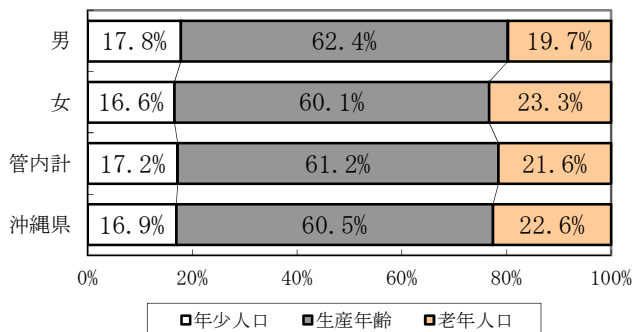
図2 管内人口ピラミッド



イ 管内3階級別年齢構成

管内における3階級別年齢構成は、年少人口(0歳～14歳)が16.9%(県全体分)より若干高い17.2%となっている。生産年齢人口(15歳～64歳)でも60.5%(県全体分)より高い61.2%となっている。高齢化率は22.6%(県全体分)より低い21.6%となっている。

図3 管内3階級別年齢構成 令和2年



	(令和2年、人)		
	年少人口	生産年齢	老年人口
男	44,418	155,509	49,130
女	42,860	155,433	60,312
管内計	87,278	310,942	109,442
県計	243,246	871,154	324,708

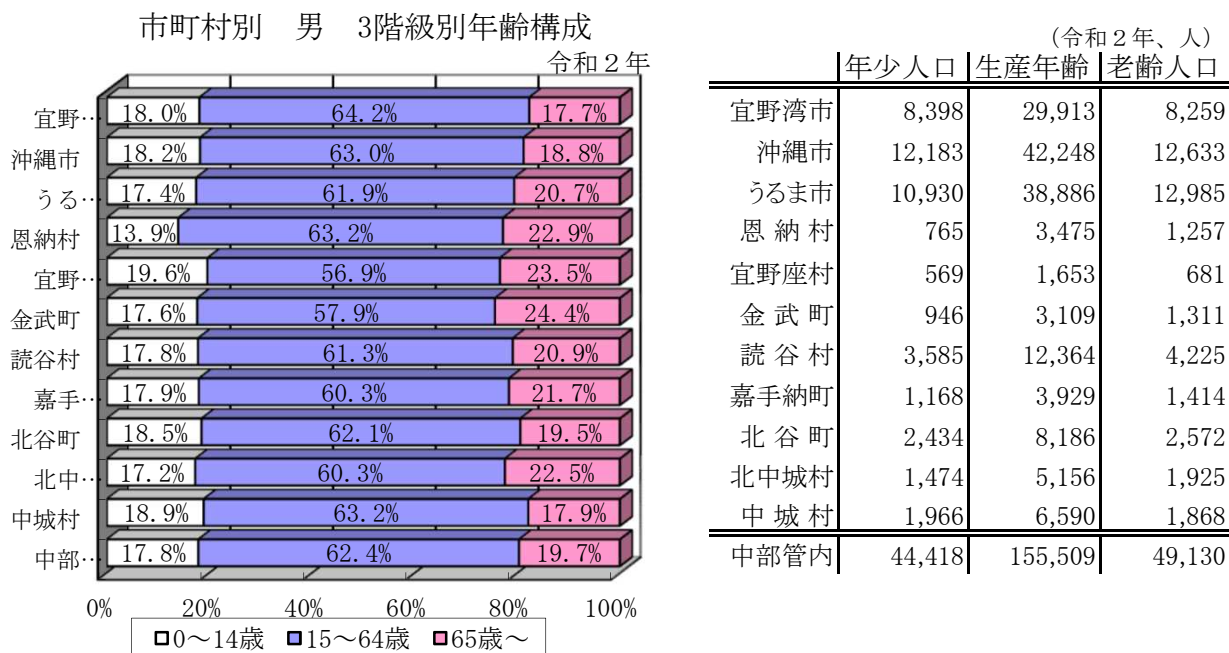
※ 上表の「管内計」「県計」は、それぞれ令和2年国勢調査における総務省により認定された以下の年齢等不詳者の人数を含まない(※管内計：12,784、県計：28,372)。

図4 市町村別3階級別年齢構成

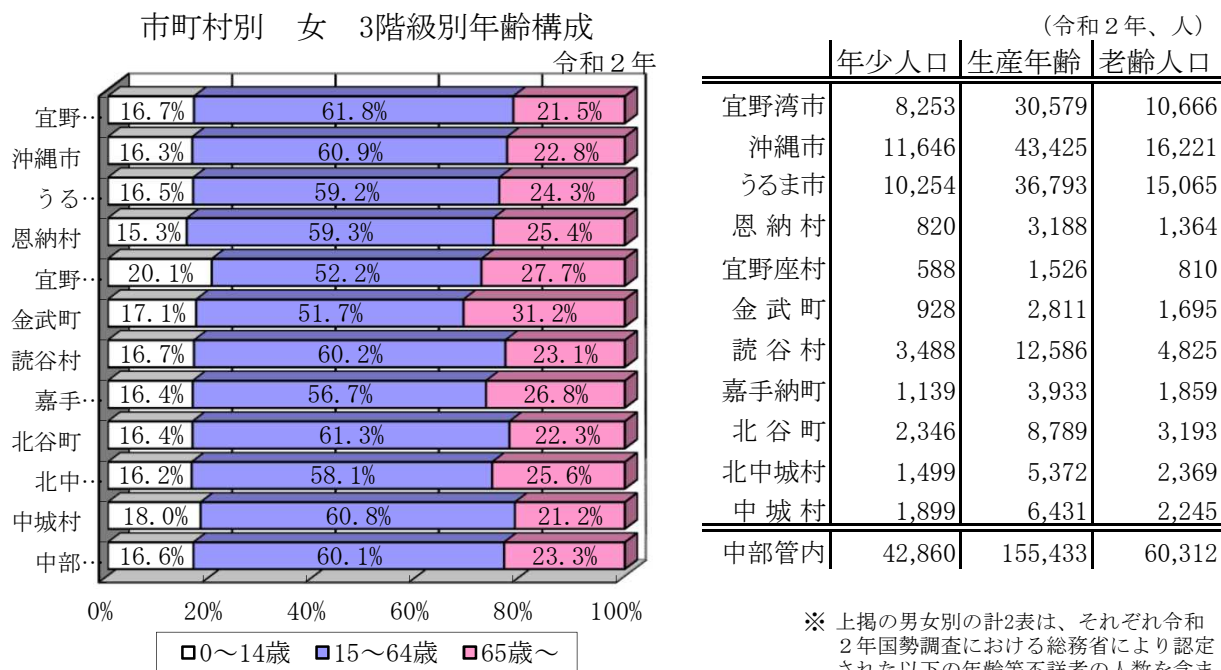
管内の男性の場合、65歳以上の高齢化率(老年人口)が高いのは、金武町(24.4)、宜野座村(23.5)、恩納村(22.9)の順となっている。

管内で生産年齢人口(15歳～64歳)の対人口比最大は宜野湾市(64.2)となっている。

管内の年少人口(0歳～14歳)が対人口比で多いのは、順に宜野座村(19.6)、中城村(18.9)、北谷町(18.5)となっている。生産年齢人口とは逆に年少人口の対人口比最小は恩納村(13.9)である。



管内の女性の場合、高齢化率(老年人口)が高いのは、金武町(31.2)、宜野座村(27.7)、嘉手納町(26.8)の順となっている。金武町は男女とも管内での高齢化率は対人口比で最大値となっている。生産年齢人口(15歳～64歳)が対人口比で多いのは、宜野湾市(61.8)、北谷町(61.3)、沖縄市(60.9)の順となっている。年少人口(0歳～14歳)の対人口比は、宜野座村(20.1)、中城村(18.0)、金武町(17.1)の順となっている。男女ともに対人口比での年少人口比最小は恩納村となっている。



※ 上掲の男女別の計2表は、それぞれ令和2年国勢調査における総務省により認定された以下の年齢等不詳者の人数を含まない(※管内計：12,784、県計：28,372)。

